

NEWS & TOPICS

新たな試み、イベント情報など新着トピックスを発信します！

2020新卒内定式

15名の精鋭集まる！緊張のCOSMO宣言から楽しい交流ゲーム、賑やかな夕食会へ

人事部の寺野です。10月1日、ユニバーサルオフィスにて2020年入社予定の大卒内定者15名の内定式が行われました。皆さん緊張の面持ちでしたが元気に15名全員集合となりました。

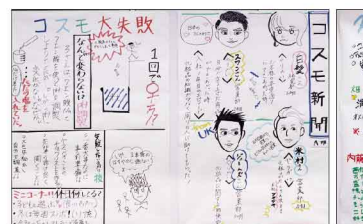
人事部 柴田さんの司会により、内定式の開会が宣言され、代表取締役山添社長の挨拶、内定証授与と進み、いよいよ内定者のCOSMO宣言です。COSMO宣言とは、コスモビューティーに入ってどんな仕事をするのか、コスモビューティーの理念を理解し、どのような社会人になっていくのかを一人ずつ宣言することです。本年度も15名の内定者の緊張している姿や、COSMO宣言を聞いて、私も身の引き締まる思いにな



りました。「初心忘るべからず」ですね。内定式後は懇親を兼ねた交流ゲームを実施。今年の交流ゲームは「インタビューゲーム」。先輩社員へインタビューを行い、壁新聞を作るというものです。先輩社員には「声をかけてOKだよ」の目印となる青いタスキをかけていただき、内定者はタスキをかけた先輩にインタビュー。インタビューのテーマも自分たちで話し合っていました。効率よく二手に分かれる班や、数多くインタビューを実施する班、先輩の似顔絵を書く班など、それぞれ工夫を凝らした記事やまともな壁新聞を作り上げました。インタビューゲーム終了後は大阪工場へ移動し、工場見学、入



積極的にインタビュー開始！



作った壁新聞は期間限定ですが、ユニバーサルオフィスの休憩スペースに掲示されました。



2020年大卒内定者のみなさん

OFFICIAL JOB OFFER CEREMONY

書類の説明、制服のサイズ確認です。工場長からの注意事項を聞き、白衣に身を包み、工場内へ。出てきたときには皆さん笑顔で、現場を見学したことでよりコスモビューティーでの仕事に興味をわいたようです。

その後はお待ちかねの夕食会です。今回は先輩社員4名も参加、とても賑やかな夕食会となりました。内定式、交流ゲームや見学会など半日一緒に過ごしてきたので、夕食会ですっきり打ち解けた雰囲気になり、先輩社員にも気になる質問をどんどんして、積極的な姿勢が認められました。来春の入社が楽しみです。先輩の皆さんも温かく迎えてあげてください！(人事部:寺野 裕子)

新工場の紹介

2020年2月稼働予定 最高品質を目指す関東第二工場建屋完成

関東工場 製造部の竹澤です。2020年2月稼働スタートを予定している関東第二工場について紹介します。この新工場は同じ工業団地内の関東工場から西(小川方面)に徒歩15分、車で5分の場所)に位置し、当社国内工場では初の大量生産型工場として様々なクライアントのニーズに対応する事が可能な設計となっております。元は教育関係の会社倉庫で3階建ての建物を居抜きで購入し工場に改造しており床の耐荷重が2t/m²と関東第一工場と同じである為工場としての転用が可能でした。

9月18日に建屋の完成(引き渡し)今後、設備を導入して2月からの稼働スタートを目指しています。敷地面積は



新設した関東第二工場外観

950坪、延床面積は約1650坪現在の関東第一工場の旧館と新館と合わせた延床面積とほぼ同じになります。

レイアウトは、3Fが製造室2Fが充填3F装置1Fが2F庫となっております。ISO22716化粧品GMPを取得最高品質の大量生産型工場を目指しております。製造設備は5tバドルミキサー6基、4.4tバドルミキサー2基を新設予定、充填設備はパウチラインを2ラインとスミューザーラインを新設。

本工場設立において特筆すべきは点を以下に記載します。

- 1) 5tのストレージタンクを4基を設置することで、製造→充填へのバルクの輸送が現状のコンテナと比較して効率的になり大量生産型に対応。
- 2) 5tバドルミキサー6基の内2基は、2軸(掻き取りバドル+傾斜タービン・ディスパー)の5tオープン釜を導入。



タンク据え付け前、製造フロア

3) バドルによる全体混合と、集中せん断タイプの傾斜タービン・ディスパーによる糊剤など粉体の分散性に優れるという特徴があり組成の自由度の広がりに対応した製造を目指す事が可能。スミューザーラインは1ラインで製造→充填→包装を一気通貫で生産可能に。また製造タンクは現行より大きなタンク4.4t×2基を導入、夜間の保温が可能で翌朝一番から充填が可能に。(現在は製造タンク下で充填、一夜おいて翌日に包装)

4) ユーティリティ機器については、仕込みや湯せんの水張り込み時間短縮の目的で、常水・純水の給湯装置を設置し、クリーン蒸気での洗浄も可能な設備を新設。これにより、生産性の向上に加えて、労働負荷軽減やヒューマンエラー減少に繋げる。

5) ロッカー室、休憩室、トイレなどを充実させ特に女性が働きやすい環境に配慮。

この建物に長年培ってきたコスモイズを盛り込み、安全性・生産性・省エネ性に優れた最高品質の工場を目指していきたいと思っております。

(関東工場 設備 6課:竹澤 敏久)

COSMEX 2019 [5TH-7TH NOVEMBER]

タイ展示会出展報告

220人以上の方との連絡先交換に成功！アジアへの営業強化の足がかりに



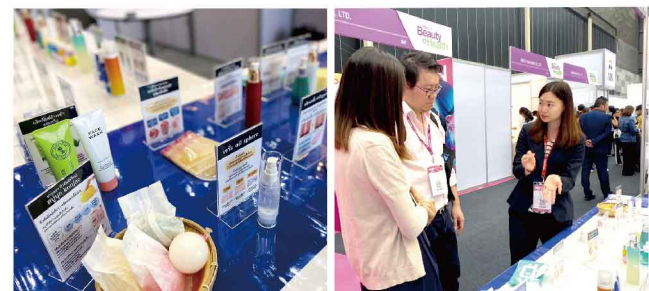
展示会参加メンバー

大阪営業の橋田です。11月5~7日にバンコクで開催されたCOSMEXというコスメの展示会にブースを出展いたしました。タイはコスメの文化が進んでおり、現地のOEMメーカーも多く、隣国のマレーシア、カンボジア、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、中国などからたくさんのお客様のブランドメーカーや輸入会社の方が集まる活気のある展示会でした。展示アイテムにも興味を

持っていただけ、特に実感できるアイテムの人気の高かったように感じました。

3日間を通し、220人以上の方にブースにお越し頂き、商品の紹介を通して連絡先の交換をさせて頂くことができました。タイのだけでなく多くのアジアの方とも話す機会があり、意見を聞くなど勉強になりました。

また、タイへ行くことで、日々日本にいるとなかなかわからない、現地の化粧品の市場や相場、人々のコスメに対する思考や興味関



実際に手に取っていただけるように展示

心などの現場感を肌で感じる事ができ、良い機会となりました。今後、それぞれの国の化粧品文化の発展に向け、お互いに良い関係を築き、共に成長し、学び合って前へ進んでいきたいと思っております。

(大阪営業部:橋田 奈苗)



コスモビューティトリビア about プレヴェュー エコベスト

みんなが知っているようで知らないようなコスモビューティー情報を不定期でお届けします！

環境に配慮した100%生分解性スクラブ採用のハンドクリーナー

購買部の柴田です。今回は天然スクラブ剤を使用した手に優しい環境にも優しい、当社の「プレヴェュー エコベスト」業務用ハンドクリーナーの開発について紹介します。

近年、工業用研磨剤などに使用されるために生産されているマイクロプラスチックは海に流れ海中生物に深刻な害をもたらす可能性が懸念されています。マイクロプラスチックとは一般的に1mm以下の大きさの微小なプラスチックですが、引き起こす問題は決して小さくなく、解決が困難な問題であります。粒子が小さいため排水処理施設でも取りきれず、川から海へと流れ込んでいるというのです。さらにタチの悪いことに、このマイクロプラスチックは有害な物質を吸い寄せてしまう性質があるため、環境に放出されたマイクロプラスチックは徐々に有害物質を吸い寄せながら、海に漂い続けることとなります。

海の小魚たちは何も知らずに有害物質を吸い寄せたマイクロプラスチックを食べてしまい、その小魚を餌にする魚がまた飲みこみ…という食物連鎖により、やがて人間たちが有害な魚を摂取する危険性があるというのです。



これが100%生分解性スクラブ採用のハンドクリーナーです。

アイデアのきっかけはBBQと温故知新！

トウモロコシの穂軸からできたスクラブ剤ですので、有害な物質を吸い寄せることもなく、排水後100%生分解され、汚れに強く、手にも優しい優れモノです！スクラブの色はトウモロコシの軸の色を生かしたナチュラルなカラーです。

実は開発のきっかけは、会社のパーベキュー大会でトウモロコシを齧っていたらアイディアが浮かんだことでした！創業時の主力商品であったおがくずパウダー入りの石鹸「モクケン石鹸」は皆さまご存知ですね。ニートソープに木クズを混ぜ合わせて造った商品が「モクケン石鹸」です。昔の思想からアイディアを頂き、美味しいトウモロコシの食べ残しに残る硬い穂軸をハンドスクラブに使えないかとひらめきました。

トウモロコシの穂軸をスクラブに加工してくれそうな会社は何か所見つけることが出来ましたが、価格、品質、規格に厳しいのが当社の購買部。なかなか私たちの要望に応えていただけない…でも、地球の反対側でやっとな社の要望に応えてくれるトウモロコシ穂軸の粉砕物を見つけることが出来ました。発注書と契約書をもって1泊4日と超ハードスケジュールで現地へGo！無事トウモロコシ穂軸を購入でき、化粧品業界の中でいち早くマイクロプラスチックの切り替えが出来ました。

工場などで使用する業務用のハンドクリーナーですので、みなさんのお目にかかることはあまりない商品ですが、当社の主力商品です。



これが100%生分解性スクラブ採用のハンドクリーナーです。

部署探訪 VISIT DEP. 大阪工場 製造1課編

OSAKA FACTORY PRODUCTION DEP.

製造1課ってどんなところ？ 大阪工場の中澤です。製造1課は、大阪工場における化粧品・医薬部外品や化粧品の中身液体の調査を行っています。

実際の作業として、誤投入を防ぐシステムが内蔵されたハンディスキャナーを使って正確な秤量(間違いない原料を、間違いない量計量)し、作業フローに沿って製造釜へ原料を投入、攪拌、混合をしています。高度な製造技術を要する熟練製造員のみしか製造できない処方もあり、経験を積み事でハイレベルな処方の製造や、緻密なコントロールを



約200キロの原料をハンドリフトで製造釜に投入

TOPICS 安全な仕事環境のため改善活動や勉強会を実施！

要する機械も使う事が出来るようになります。製造する品目は年間何百種類もありますが、タンク数は20機しかなく、1つのタンクで化粧水などの水系・トリートメントなどの油系・カラー剤など色水系を製造する事もあります。それぞれの品種切り替えの際にはタンクを高温の水や蒸気で洗浄、場合によってはタンクに潜って手作業で洗浄し、異物が混入しないよう洗浄されていない箇所がないか人の目で何度も確認し、何度も洗浄を繰り返すといった苦勞もあります。専用タンク化出来ないOEMの宿命ですが、化学的な洗浄と物理的な洗浄、最後は人の目で確認し、異物混入しないよう保証しています。

そのような苦労の一方でうれしいことも。入社当初と比べ、慣れてくると自分の成長を実感することが多々あります。また製造員はみんなですが、体格がよくなり逆三角形体質です(笑)



製造1課のメンバーで食事会を開催しました！

安全な仕事環境のため改善活動や勉強会を実施！

これからの課題は、昔に比べると人も多くなり「安全に仕事を行うこと」が必要になってきますので、その環境を整える事。安全に対する意見を出すという改善活動、原料の取り扱いについての勉強会、また総合的な化粧品の知識の習得として化粧品検定1級を受験するため、体を動かす以外の業務も日々行っています。

また、製造1課では精密なタイムシフト制での勤務になるので退社時間が人によって異なります。一緒にご飯に行く機会も少ないので、この度休日を使って部署内交流という事で食事会を開催し、楽しい時間を過ごすことができました。

(大阪工場 製造1課:中澤 敏)

10月19日第2回アイデアコンテストを開催しました！

SECOND TIME IDEA CONTEST

東洋研究の田中です。10月19日に第2回アイデアコンテストを開催しました。この催しは研究部員が普段の依頼案件とは別に夢と希望の元に温めてきた独自のアイデアを発表、営業にいち早く紹介するという企画です。

実は今年2月に第1回を開催しましたが準備時間もなくプレゼンもなかったため中途半端なコンテストとなってしまいました。代表の山添さんからも「レベルが低い」との評判を頂いてしまい、研究員のみならず主催側(大阪企画の寺田さんと私)も凹んでしまいました。しかし中にはキラリと光るアイデアも...！ここで凹んでいるだけでは当社研究のためにならないと企画寺田さんと意見は一致し、第2回の開催を山添さんに嘆願したところ半信半疑ながら了解して頂けました。

キラリ光るアイデアを営業に伝える事、営業が「これなら売れる」としたら思えるか？一番の問題は当社の研究員は面白いアイデアを持っているのにアピールが苦手という結論を経て、思いの丈を自分の言葉でプレゼンするという発表会にすることに。企画書も寺田さんの添削付きでアピール力のアップを図りました。

第2回をアナウンスしてから半年を経て集まったアイデアは48作品、3作品出す研究員からじっくり温めた至極の1作品に掛ける研究員も、中にはほぼ一夜漬けみたいな(笑)、兎に角、研究の思いが集まりました。当日は一人持ち時間5分間のアピールタイムに気持ちを込めて、全員自分の言葉で伝えました。山添さんからも「これだけ新規企画があれば、下期、そして来季に向けて営業がお客様にどんな提案できる！」とお言葉を頂きました。(研究員も主催者もホッとしました。)

どんな素晴らしいアイデアも営業が売ってくれて初めて陽の目を見ます。製品にすときには製造、充填、品管の工場の協力が必須です。購買を始め関係部門の協力があって初めて良い製品が生み出されます。これからも皆様の協力をお願いします。第3回も更に進化したアイデアを提供できる機会にして会社そしてお客様に貢献できるように企画できればと思います。

(東京研究部:田中 智也)

人事NEWS!!

人事部からのお知らせ

"各地で紅葉が見頃を迎え、北国からは初雪の便りも届き始める11月。"

今年もインフルエンザワクチン予防接種を実施しました。インフルエンザは毎年大流行します。インフルエンザは感染性が強いので、いくら自分で予防をしていたとしても、かかってしまうときはかかってしまいます。予防接種を受けていても、かかることがあります。また、一度インフルエンザにかかったからといって、2回目はかかりません。

これらの乾燥する季節、インフルエンザだけではなく、風邪にかからないよう、人にうつさないようにしましょう。こまめな手洗いうがいはもちろんですが、人混みや交通機関内では飛沫感染を防ぐために咳エチケットを心がけてください。

くしゃみや咳による飛沫感染を予防するための「咳エチケット」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html